

2008年10月3日
株式会社キンレイ



「かごの屋」は森を守ります

**外食業界初！国産間伐材で作った国産の割箸を
10月中旬より関東10店舗で導入。
同時に吉野のヒノキで作った国産「My箸」を全店で販売開始**

株式会社キンレイ（本社：大阪市、社長：木林靖治 <http://www.kinrei.com>）は、国産（奈良県吉野産）の間伐材で作った割箸を「かごの屋」関東10店舗において、2008年10月中旬より先行導入いたします。同時に、奈良県吉野産のヒノキで作った「My箸」を「かごの屋」全店で導入いたします。

「料理」「おもてなし」を通して日本の文化・日本の食文化を表現し、内需拡大、社会貢献することを経営ビジョンとしている「かごの屋」では、08年4月よりキンレイ全社で参画しているハートツリー株式会社（東京都、服部進代表取締役 <http://heart-tree.com/>）**(※1)**が運営する『ハートツリープロジェクト』の中の『Yoshino Heart』プロジェクトを通じて、“店舗からエコを～森を守る活動”を支援していきます。

日本は世界でも有数の森林保有国ですが、現状は木材の需要が落ち込んでいるため、林業が衰退し、適切な間伐がされないまま放置され、日本の森は荒れています。『Yoshino Heart』プロジェクトは、日本の森林業のトップランナーである奈良県吉野の林業と企業のマーケティング活動を結びつけることによって、森林の活性化と経済活動の両立を目指し、日本における資源循環（植える→切る→使う→植える）モデルを作る活動を推進しています。

かごの屋では、『Yoshino Heart』プロジェクト参画の第1弾として、

1. 奈良県吉野産ヒノキの間伐材を利用した割箸の導入
2. 吉野産ヒノキの「My箸」の店舗販売

を通じて、森を守る活動を推進いたします。

(※1) ハートツリー株式会社は、企業のマーケティング活動とコラボレーションをした植樹活動を通じて、生活者（消費者）と生活環境、そしてそれを支える企業を同時に元気にする『ハートツリー・プロジェクト』を推進中です。
<http://heart-tree.com/>

1. 奈良県吉野産ヒノキの間伐材を利用した割箸の店舗導入

現在店舗で使用している外国産の『割箸』を、奈良県吉野産の間伐材で利用した国産の『割箸』に、「かごの屋」関東 10 店舗で 10 月中旬から先行導入いたします。順次全店へ広げていく予定としております。

2. 吉野産ヒノキの「My 箸」の店舗販売

吉野産ヒノキで作った「My 箸」を「かごの屋」全店で 10 月中旬から販売いたします。
販売価格 1,480 円（税込）



尚、本件は、農政クラブ・東商記者クラブ・大阪商工記者会にて同時に資料配布しております。

<報道関係の方のお問合せ先>

株式会社キンレイ 外食事業カンパニー CEO 室

担当：長尾 電話 06-6203-6180

<読者のお問合せ先>

株式会社キンレイ 外食事業カンパニー(大阪) 電話 06-6203-6180

(訂正) 本プレスリリースの「かごの屋は森を守ります。外食業界初！国産間伐材で作った国産の割箸を10月中旬より関東10店舗で導入。同時に吉野のヒノキで作った国産「My箸」を全店で販売開始」の一部訂正について

2008年10月3日、本日発表いたします「かごの屋は森を守ります。外食業界初！国産間伐材で作った国産の割箸を10月中旬より関東10店舗で導入。同時に吉野のヒノキで作った国産「My箸」の一部に誤りがありましたので訂正箇所を以下のとおり訂正いたします。

訂正箇所は、下線にて示しております。

訂正前	訂正後
1. 奈良県 <u>吉野杉</u> の間伐材を利用した割箸の導入	1. 奈良県 <u>吉野産ヒノキ</u> の間伐材を利用した割箸の導入